資料提供招請に関する公表

次のとおり一般競争入札を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

令和２年12月11日

国立研究開発法人国立がん研究センター

理事長　中釜　　斉

◎調達機関番号　819　◎所在地番号　13

○第27号

1　調達内容

⑴　品目分類番号　22

⑵　購入等物品及び数量　放射線治療計画用Ｘ線ＣＴ装置　一式

⑶　調達方法　購入

⑷　導入時期　令和２年度中

⑸　調達物品に必要とされる基本的要求要件　詳細は導入説明書による。

2　資料及びコメントの提供方法　上記１⑵に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件等に関するコメント等の提供を招請する。

⑴　資料等の提供期限　令和３年１月12日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）

⑵　提出先　〒104―0045　東京都中央区築地５－１－１　国立研究開発法人国立がん研究センター総務部総務課調達企画室　電話03―3542―2511　内線2652

3　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。

⑴　交付期間　令和２年12月11日から令和３年１月10日まで。

⑵　交付場所　上記２⑵に同じ。

4　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。

5　Summary

⑴　Classification of the products to be procured : 22

⑵　Nature and quantity of the products to be purchased : X-ray CT for radiation therapy planning 1 set

⑶　Basic requirements of the procurement : Details are shown on the description document

⑷　Time-limit for the submission of comments : 5 : 00 P.M. January 12, 2021

⑸　Contact point for the notice : Procurement Policy Planning Division, National Cancer Center, 5―1―1, Tsukiji, Chuo-ku, Tokyo, 104―0045, Japan. TEL 03―3542―2511 ext. 2652

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

令和２年12月11日

国立大学法人千葉大学事務局長　松浦　晃幸

◎調達機関番号　415　◎所在地番号　12

○第１号

1　調達内容

⑴　品目分類番号　14

⑵　導入計画物品及び数量

総合病院情報システム　一式

⑶　調達方法　借入

⑷　導入予定時期　令和４年度１月以降

⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件

①　本システムは、医学部附属病院における診療業務等を総合的に支援できるものとする。

②　診療・看護支援として、電子カルテ、オーダエントリー、レポーティング、画像情報、看護、グループウェア、臨床研究等の総合的な管理運用を行う。診療記録に関する三原則（真正性・見読性・保存性）を遵守し、電子カルテの作成者責任の明確化、タイムスタンプ機能を有し、セキュリティと個人情報の保護を実現すること。

③　部門業務として、検査、生理検査、病理、薬剤、看護、栄養、診療録、輸血、手術、光学診療、リハビリテーション、透析等の部門システムの管理運用を行う。現在運用している各部門のサブシステム、モダリティ等と接続し、相互のデータ交換・統合閲覧・検索できること。

④　経営管理業務として、医療事務（診療報酬請求業務（介護事業者支援システム含）・債権管理業務（患者未収金・レセプト請求））、ＤＰＣ、物流（薬剤・滅菌・ベッド消毒・ＭＥ機器など）、財務会計システムとの連携、経営管理及び監査の総合的な管理運用を行う。

⑤　診療情報、システム、ネットワークのハードウェアを活かした総合的な医療安全対策を備えるシステムとする。患者の取り違えを防止するために、患者バーコードや診察券等を用いて患者認証すること。医療事故防止のための安全性確保の方策を実現すること。

⑥　患者サービスとして、案内サービス（外来患者案内）、診療録開示、外来受付、インターネット情報提供等の管理運用を行う。

⑦　医療情報保存のための法的要件（ガイドライン含む）を満たしていること。

⑧　電子カルテシステムを始め部門システムも、ペーパーレス運用できるシステムであること。

⑨　地域包括ケア及びチーム医療をサポートするシステムであること。

⑩　バックアップ、ウィルス対策など総合的なセキュリティ対策を行い、安全性・可用性を確保すること。遠隔地への安全かつ安価なバックアップを行うこと。

⑪　既存の病院情報ネットワークと結合し、ワイヤレスの環境を設定して携帯型端末を利用した情報システムを運用する。

⑫　既存のシステム（検査部、薬剤部、ＩＣＵ、透析、栄養等）で接続している機器及び部門システムと接続し、機能を維持すること。

⑬　既存のシステムで保有する診療データ等の継続的利用を図ること。

⑭　各種医療文書や帳票類をすべて電子化し、電子署名、自由なレイアウト、独自情報をタギングできる文書管理システムを導入すること。文書はプリンタやＰＤＦ形式ファイル、標準的なタグを活用したＸＭＬ形式ファイルへ出力できること。データウェアハウスへの登録や全文検索のインタフェースを提供すること。

⑮　新システムへの移行は、日常業務に支障を来たすことなく円滑に行い、リプレースに伴うシステム停止は24時間以内とすること。

⑯　保守点検を含めた停電時やハード的な障害時においても24時間365日のノンストップ運転を行うこと。

⑰　仮想化技術及び統合ストレージ技術を利用してサーバとストレージの集約化を実現し、コスト削減、データの長期保存、システムの安定運用向上を実現すること。必要に応じて既存の部門システム等を新サーバに移行できる環境を提供すること。システム導入後長時間経過しても、システム性能低下がないようにメンテナンス機能を有すること。かつ性能増強が必要であれば容易かつ安価に拡張可能であること。仮想デスクトップ技術もしくはリモートデスクトップ技術を導入し、様々な場所から安全かつ快適なレスポンス性能を確保したシンクライアント環境を提供すること。

⑱　本調達に含まれる全てのシステムにおいて、ミドルウェア経由でデータ連携を実現すると同時にデータ抽出、イベント駆動ベースのシステム連携を実現すること。また抽出したデータの一部はデータウェアハウス等に取込み、データの有効利用を図ること。

⑲　本システムはＨＥＬＩＣＳ協議会で認定されている標準規格をはじめとした様々な標準規格をサポートしていること。すなわち、患者基本情報、予約、処方、注射、処置、輸血、手術、歯科処置、看護ケア、患者移動、食事、ＪＬＡＣ10、標準用法マスタ、ＮＡＮＤＡ、ＮＩＣ－ＮＯＣ、ＩＣＤ－10・ＭＥＤＩＳ標準病名による病名管理、ＤＰＣ、治験（ＣＤＩＳＣ）、地域連携等を含むこと。全ての部門システムのマスタの集中統合管理をし、将来の改定時に対応が無償でできること。マスタは履歴管理をし、データウェアハウスの分析と連動できること。